

eLearning ケアマネジャー

Windows®版 国内特許No.3820421号, 米国特許No.5888071号

ケアマネジャー知識ゼロからのスタートで合格を

ケアマネジャー試験に確実に合格する為には、合格に必要な知識をおおよそや曖昧ではなく、100%正確に、しかも瞬時に即答できるまで習熟しておかなければなりません。

そのために本教材は、科目毎にスモールステップで進めて行き、1ステップずつ完全習熟したとプログラムが判断したとき、受講生固有の合格番号が表示される「習熟度管理機能」を有しています。全科目に合格番号が表示されるまで完全習熟すれば、合格点を超えられるだけの知識が身につきます。

NewtonのTLTソフトは、パソコンによる「習熟管理機能」「完全暗記機能」、それに膨大な学習を超速で進める「ワンタッチ入力システム」、習熟度判定による「合格番号表示」等の仕組みが認められ、国内特許(No.3820421号)及び米国特許(No.5888071号)を取得しました。

『合格保証制度』を付けられる理由

科目単位をスモールステップで確実に頭にすり込み、豊富な演習問題で解答能力を身につけ、「合格点」を十分に超える実力が養成されたときTLTプログラムが判定したとき、そのスモールステップの合格マークが学習履歴に記録されます。

全ての単元単位において受講生固有の合格番号が画面に表示されると、それはその範囲からどのような試験問題が出されようかと合格点が取れる実力がついていくという証です。このようにスモールステップで全ての科目に合格番号が表示された時、「合格点を超える習熟」を全うした証拠といえます。もちろん、この段階で「本試験には合格」と自信がもてるでしょう。TLTソフトは完全習熟の積み重ねで、合格にアプローチします。

『合格保証制度』万が一、不合格なら全額返還

eラーニング契約期間内に全科目すべてに「合格保証番号」を表示させ、その全合格番号を専用ホームページから当社へご送信下さい。その後実施される本試験で万が一不合格になられた場合、お支払いになった e-Learning受講会費を全額返還します。全合格保証番号が表示された方ならば、不合格はあり得ないと考えているからです。(合格保証番号送信フォームのホームページURLは、e-Learning受講開始の際にお知らせします)

パソコン学習だからできる超速習

TLTソフトでの学習は、すべてパソコンの画面上で行われます。受講者の実行力にもよりますが、TLTソフトでの学習は誰もが熱中してしまいますので、アツという間に時間が過ぎて「勉強」が飽きません。TLTソフトは、これまでに経験したことのないパソコンを使ったリズムカルで超効率、超スピード習熟を可能にしました。

TLTソフトの『TLT』とは

TLTソフトとは、Testing(自分の実力をチェック)、Learning(知らない項目だけを学習)、Training(覚えるまで繰り返し演習)の頭文字をとったもので、Newton社が、多くの初心者でも容易に、自動的に『完全習熟』させてしまうことを追及して開発した、自動習熟システムソフトの名称です。

学習区分	事項数	【初回】	【復習】	【総計】
8 1 介護問題-介護保険制度	修了	11/11	25/25	30/30
8 2 従来の制度の問題点	修了	11/11	11/11	28/28
8 3 介護保険制度の創設	修了	15/15	34/34	30/30
8 4 介護支援専門員の視点	修了	18/18	18/18	28/28
8 5 介護支援専門員の役割	修了	12/12	14/14	26/26
8 6 介護保険制度	修了	10/10	21/21	27/27
8 7 補保者1	11	11/11	18/18	27/27
8 8 補保者2	?			

※ e-Learningケアマネジャーサンプル画面

—動作環境—

- OS: Windows®XP日本語版が動作するPC/AT互換(DOS/V)機推奨
- CPU: Intel Pentium®(または同等の)プロセッサ300MHz以上
- メモリ: 256MB以上
- HDD: 空き容量2GB以上
- 解像度: 解像度1024×768以上、256色以上の表示が可能な機種(65536色以上推奨)
- 通信環境: インターネットに接続できる環境(ADSL・光回線などのブロードバンド環境推奨)

1 スピード習熟を可能にした「ワンタッチ入力システム」

TLTソフトでは、画面に表示される問題の『答』を入力する時に、長い『答』を打ち込むには時間もかかり、大変です。そこでTLTソフトでは、『答』の頭文字を入力すると『答』全体が入力されたとみなす機能を備えています。例えば、『答』が〔家族〕なら、〔KA〕と入れるとその時点で〔家族〕と表示されて、正解表示になります。そして、次の穴埋め、または説明文へと自動的に移行します。このように、頭文字の1文字を入力するだけでコンピュータは○×の判定をしてくれます。これが学習スピードを10倍以上にも上げる『ワンタッチ入力システム』なのです。

2 あなたの弱点項目を集中トレーニングする「習熟度管理機能」

最初にTestingでいくつかの問題が出題され、あなたが間違えた問題・弱点を見つけます。Testingでニガテと判断された問題を、Learningで例文・解説と一緒に、しっかりと理解するまで何度も繰り返し学習した後、Trainingで学習した問題が完璧に身についているかを再び確認します。LearningとTrainingを繰り返し、最終的には全てを完全習熟させてしまいます。このようにあなたの学習習熟度を管理するシステムにより、無駄なく着実に勉強ができるのです。

3 「忘却曲線応用システム」で100パーセント習熟

繰り返し出題されるといっても、同じ問題が何度も出てくるのではなく、出題形式や出題内容は少しずつ変化します。できたはずの問題が、しばらくしてまた出題されることもあります。これは、完全に覚えたと思っても、時間が経過したり、次から次へと新たな知識を吸収していくうちに、その記憶が希薄になり次第に忘れていくという有名な『忘却曲線』を応用したシステムで、TLTソフトではこのシステムにより、最後にはしっかり『頭にスリ込ませて』しまいます。

合格への学習計画

スモールステップで1項目ずつ完全習熟すると、最終的に全学習項目に合格番号が表示されます。総学習時間は個人差にもよりますが、看護師・医療関係者は103時間、福祉士系は158時間、医療関係者外は200時間程度で合格点に達する習熟学習ができます。

例)【看護師・医療関係者103時間の学習計画】	◆1日2時間学習…2ヶ月弱(52日)	◆1日3時間学習…1ヶ月強(35日)
【福祉士系158時間の学習計画】	◆1日2時間学習…3ヶ月弱(79日)	◆1日3時間学習…2ヶ月弱(53日)
【医療関係者外200時間の学習計画】	◆1日2時間学習…3ヶ月半(100日)	◆1日3時間学習…2ヶ月強(67日)

※学習項目は、バージョン・法改正により多少変わる場合がございます。

【介護支援分野1】 介護問題・介護保険制度／従来の制度の問題点／介護保険制度の創設／介護支援専門員の視点／介護支援専門員の役割／介護保険制度／被保険者1・2	【保健医療サービス分野1】 バイタルサイン1～3／検査値とその意義1・2／脱水他・循環器／神経内科1・2／呼吸器／消化器他／関節リウマチ他／排泄および失禁の介護／褥瘡への対応／食事・嚥下困難への対応／睡眠・清潔の介護／リハビリテーション1～3／感染症への対応と予防1・2／認知症高齢者の介護1～3／高齢者の精神障害／精神に障害のある介護／口腔のケア／栄養管理指導／薬剤管理指導／在宅医療管理1～4／急変時の対応1・2／終末期介護	【福祉サービス分野1】 高齢者ケア／相談・面接の技術1～3／ソーシャルワークの概要1・2／援助困難事例への対応
【介護支援分野2】 保険者・国等の責務1～3／手続き・種類・内容1～5／事業者および施設1～4	【保健医療サービス分野2】 訪問看護1・2／訪問リハビリテーション／在宅医療管理指導1・2／通所リハビリテーション／短期入所療養介護／介護老人保健施設1・2／介護療養型医療施設1・2／老人性認知症疾患療養病棟	【福祉サービス分野2】 訪問介護1・2／訪問入浴介護／通所介護／短期入所生活介護／認知症対応型共同生活介護1・2／特定施設入居者生活介護／福祉用具・住宅改修／介護老人福祉施設1・2／会社資源の活用／関連制度／高齢者の権利擁護
【介護支援分野3】 介護保険事業計画／保険財政1・2／財政安定化基金等／国民健康保険団体連合会／審査請求／雑則・検討既定等／要介護・要支援認定1・2／介護支援サービス1・2／居宅介護サービス1・2	【保健医療分野・実践演習】	【介護支援分野・実践演習】
	【福祉サービス分野・実践演習】	

お問い合わせ先